

子育てワンポイント わらべうた



「わらべうた」は、昔のものと思われがちですが、あそび方がシンプルで、くすぐったり揺らしたり、子どもたちの好きな感覚や、子どもの発達を促す要素もたくさんあります。わらべうたを楽しむポイントをいくつかご紹介します。

ポイントその1

子どもの目を見つめて、語りかけるように歌ってあげましょう。

※「みつめあう」ことは、愛着関係の原点です。たくさん見つめてあげることは、今後、離れていても見守られているという安心感につながります。

ポイントその2

歌詞や音程にとらわれず、子どもとやり取りしながら出てきた言葉でどんどんアレンジして遊んでみましょう。

(例) 『おせんべやけたかな』: おせんべ⇒ホットケーキ、ハンバーグなど

『あがりめさがりめ』: ねこの目⇒パンダの目、〇〇ちゃん目の目など

『ととけっこう』: まめでっぼう起きてきな⇒〇〇ちゃん起きてきな

※次は何にする?と問いかけたり、子どもにアイディアを出してもらったりすることで、子どもが「もっともっと!」と熱中し、表現力やコミュニケーション力がつくことにもつながります。

ポイントその3 『いっぽんばし』 『ねーずみねずみ』 『おらうちのどてかぼちゃ』 など

「ため」と「間^ま」を作り、「来るぞ来るぞ〜」「ほら、来た!」という流れの中でクライマックスをつくりましょう。

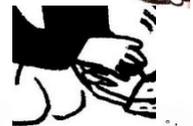
※「どうなるのだろう?」という興味や関心を抱かせる事は、子どもの考える力を培っていくことも期待できます。ゆっくりしたり、速くしたりしても楽しめます。

わらべうた紹介



『もちっこやいて』

♪もちっこやいて
(子どもは両手を合わせる。大人は子どもの手を両手で上下からはさむ。)



♪とっくらきゃーしてやいて
(はさみあった手をひっくり返す。)



♪しょうゆをつけて
(子どもの手をなでる。)



♪たべたら うまかろう
(子どもの手を食べるような素振りをして、そのまま子どもの手をほおに持っていく。)

※もちっこをせんべいに替えたり、しょうゆをソースに替えたり、子どもの好きな物に替えてたくさんしてあげてください。



『うまはとしとし』

♪うまはとしとしなくてもつよい
♪うまはつよいからのりてさんもつよい
(子どもを膝の上に乗せ上下に揺らす。)



♪ぱかっぱかっ
(ひざを開いてストンと落とす。)

※のりてさんを子どもの名前に替えて歌うと喜ぶます。



その場で、声と手だけで子どもを笑顔にできるわらべうたは、気がつくとな、している方も穏やかな優しい気持ちになっていきます。どうぞお試しください。

